

健康

医学の広場

陽子線照射室にスヌービー

日本の陽子線治療施設としては最も多く小児がんの子どもを受け入れている筑波大病院の陽子線医学利用研究センター(茨城県つくば市)が、照射室の壁面や設備を「スヌービーとビーナッツの仲間たち」のキャラクターで飾り付けた。子どもたちを勇気づけるのが目的で、メットライフ生命(東京)が寄贈した。

陽子線は周りの正常組織を傷つけずに、がんの病巣だけを狙って照射できる利点があるが、大きく無機質な設備に恐怖を感じる子どももいた。オープニングには、同センターで治療を受けた子どもたちも参加した。

遺伝子レベルで若さ保つ

体に良い効果が報告されている地中海式ダイエットは、遺伝子レベルで若さを保つのに役立っている。米ハーバード大などのチームがそんな研究結果を英医学誌BMJに発表した。

地中海式ダイエットは野菜や果物、ナッツ、豆類、穀類、オリーブオイルを多く食べ、肉よりも魚、ワインなどの適度な飲酒を特徴とする食事。チームは約5千人の女性看護師について生活様式や健康状態を10年以上追跡した調査結果と、染色体の末端にあるテロメアという部分の解析結果を分析した。その結果、地中海式ダイエットに近い食事をしている人ほどテロメアが長いことが分かった。

特徴的なのは、一般的な悪性腫瘍と異なり15〜35歳までの若い世代の患者さんが多いことです。40歳未満の患者さんが全体の約8分の2を占めています。すな

わち生殖年齢にある若年男性に多い病気であるといえます。また精巣の組織は抗がん剤や放射線の影響を受けやすい組織です。そのため治療による性腺機能低下症(男性ホルモンの低下)や不妊症が、治療後の問題となるケースがあります。

精巣腫瘍の治療に用いる標準的な抗がん剤投与であるが、治療終了後1〜2年程度たてば、造精能(精子を作る能力)は回復するといわれています。しかし時間がかかっても十分に回復しないこともあり、治療に必要ない抗がん剤の投与

回数 精巣腫瘍の罹患率は10万人当たり1〜2人程度とされています。病理組織結果や病気の進行具合により治療方針は異なります。通常は腫瘍摘出の手術を行い、追加治療が必要な場合は抗がん剤投与や、放射線療法、さらに後腹膜リンパ節摘出術などを行います。精巣腫瘍の5年生存率は全体で90%以上とされており、根治の可能性の高い悪性腫瘍の一つです。



香川 純一郎 徳島大学病院 泌尿器科助教授

精巣腫瘍だが子どもも持てるか

質問 30代の男性ですが、精巣がんと診断されました。未婚ですが、将来は家庭を持ち子どももつくりたいと思っています。大丈夫でしょうか。

治療後 男性不妊の恐れ



わち生殖年齢にある若年男性に多い病気であるといえます。また精巣の組織は抗がん剤や放射線の影響を受けやすい組織です。そのため治療による性腺機能低下症(男性ホルモンの低下)や不妊症が、治療後の問題となるケースがあります。

精子凍結保存も選択肢

精巣腫瘍の治療に用いる標準的な抗がん剤投与であるが、治療終了後1〜2年程度たてば、造精能(精子を作る能力)は回復するといわれています。しかし時間がかかっても十分に回復しないこともあり、治療に必要ない抗がん剤の投与

場合、治療前に精子の凍結保存を行うことが勧められます。未婚男性や未成年者の場合でも、治療前の精子凍結保存が最も危険が少なく、最も治療の低治療と考えられますので、可能な限り凍結保存を行うべきだと思

われま。精子の凍結保存を行っている施設は徳島県内にもありますので詳しくは医師に相談してください。精巣腫瘍の場合は治療前の時点でも造精能が低下している場合があります。また治療後に造精能が十分に回復しない場合や、後腹膜リンパ節摘出術の合併症である射精障害による無精子症の場合、「精巣内精子回収法」という手術で精子を取り出せる可能性があります。詳しくは泌尿器科や産婦人科の医師に相談してください。県内では徳島大学病院泌尿器科において産婦人科との連携を行い、治療を行っています。

抗がん剤投与や放射線により奇形などが増えているといった報告はありませ

精巣腫瘍の治療に用いる標準的な抗がん剤投与であるが、治療終了後1〜2年程度たてば、造精能(精子を作る能力)は回復するといわれています。しかし時間がかかっても十分に回復しないこともあり、治療に必要ない抗がん剤の投与

第4土曜掲載